



イギリス人作家ピーター・タウンゼントと 彼が遺した『ナガサキの郵便配達』を紡ぐ日

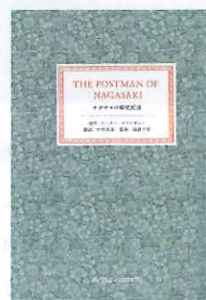


『ナガサキの郵便配達朗読』と「ナガサキ組曲演奏」

日時 / 7月27日(土) 17:30 開場 18:00 開演 (19:30 終了)

場所 / 御茶ノ水エスパス・ビブリオ

参加費 / ¥3,000 (高校生無料 / 保護者 ¥1,500)



『ナガサキの郵便配達』



ピーター・タウンゼント



出演 / ギター演奏: 佐藤洋平 ピアノ演奏: 春日摩子

朗読 / 田園調布学園の皆さん

主催 / ナガサキの郵便配達制作プロジェクト

齋藤芳弘 イザベル・タウンゼント 佐藤洋平

ご予約・お問い合わせは Tel.03-6821-7702



ESPACE BIBLIO

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台1-7-10
YK駿河台ビルB1 tel.03-6821-5703
JR御茶ノ水駅 御茶ノ水橋口から徒歩7分
espacebiblio.superstudio.co.jp

エスパス・ビブリオ



検索

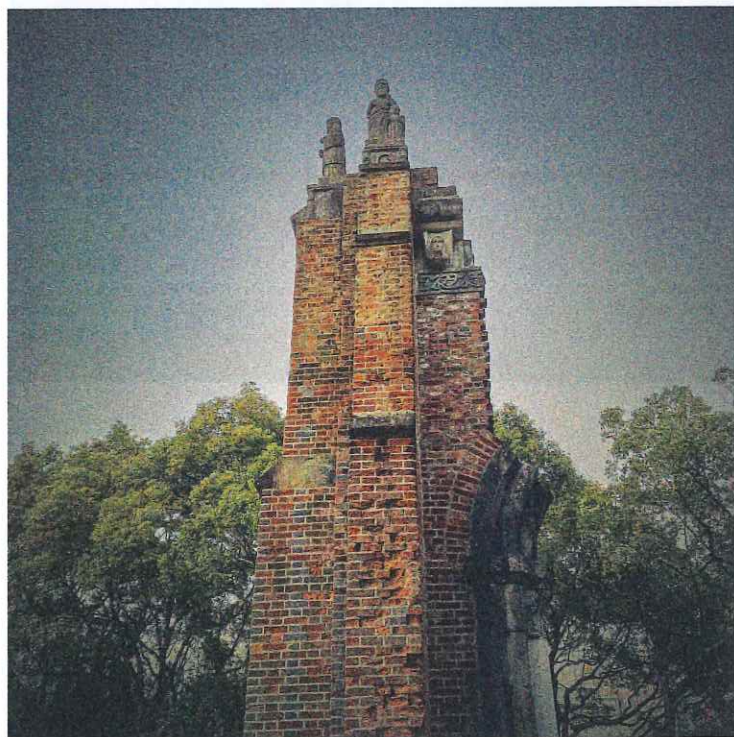
twitter

facebook

音楽と、朗読で紡ぐ ピーター・タウンゼントの平和への想い。 Together with Peter Townsend for Peace 2024

あなたは、ピーター・タウンゼントを知っていますか？
あなたは、「ナガサキの郵便配達」を知っていますか？

79年前、長崎で郵便配達の途中で被爆し、数奇な運命を歩んだ谷口稜曄さん^{すみてる}と
運命的に出会ったピーター・タウンゼントさんは6年の歳月をかけ、
原爆の悲惨さと、戦争の虚しさ、そして、平和に尊さを伝える本『ナガサキの郵便配達』を私たちに遺しました。
7月27日は、彼の平和への想いを繋ぐための集いの日です。



1978年、初めて長崎を訪れた英国人作家ピーター・タウンゼントは、2人の被爆者に会ったその日に、あまりにも感動的で衝撃的な話を聞き、長崎の苦悶の一端に触れた体験から、長崎の物語を書こうと思いました。

1982年から本格的な調査を始め、被爆者の一人である谷口稜曄氏と出逢い、自宅に通い詰め、6ヶ月もの間、来る日も来る日も膝を交え深夜まで話し合いをしました。そして、多くの被爆者達とのインタビューを重ね、彼らと共に時間を過ごし、長崎の街の空気を吸い、何十キロメートルも歩き回り、被爆者のみならず医師、科学者、社会学者、宗教指導者、さらに軍関係者など数々の人々から貴重な証言を集めました。1984年「The Postman of Nagasaki」のタイトルでイギリスとフランスで出版されたこの本は、両国の新聞雑誌などで広く書評に取り上げられました。原爆とその後遺症がいかに恐ろしいかということを初めて伝えたこの本は、一被爆少年の悲劇とその後の苦しい闘いを、原爆の恐ろしさと犠牲者の痛みが直に伝わってくるような雄渾な筆致で描き出した感動的なドキュメンタリー物語で、叙情詩的表現が各誌で絶賛されました。

残念ながら、日本語版は出版されて間もなく絶版となり長い間読まれることはありませんでした。

友人の紹介で生前の谷口稜曄さんと会い、日本語版の再版を依頼された出版社スーパーエディションを主催している齋藤芳弘氏は、ピーター・タウンゼントさんの娘さんであるイザベル・タウンゼントさんと連絡を取り、著作権、翻訳権の承諾を得て、一般社団法人ナガサキの郵便配達制作プロジェクトを創設、2018年に日本語版を再版しました。本公演は、この「平和の教科書」とも言える『ナガサキの郵便配達』を遺したピーター・タウンゼントさんの作家としての業績に敬意を表すと同時に、核兵器のない恒久平和への想いを繋いで行くために「Together with Peter Townsend for Peace」として毎年開催しています。

皆さんのご参加を心からお待ちしております。

ご参加のご予約・お問い合わせは、下記のお電話まで。

03-6821-7702 (火～土 11:30～18:00)



主催/ 一般社団法人 ナガサキの郵便配達 制作プロジェクト

齋藤芳弘 イザベル・タウンゼント 佐藤洋平

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-7-10 YK 駿河台ビルB1F

HP: <https://www.tponp.com/>